宗像

毎月一日発行
発行所
宗像大社
福岡県宗像郡玄海町
電話 神湊 26番
定価一年 送料共500円

超マンモスタンカー 出光丸竣功

―宗像大神を奉斎して―

日本人の和の結晶 二十一万トンの記録

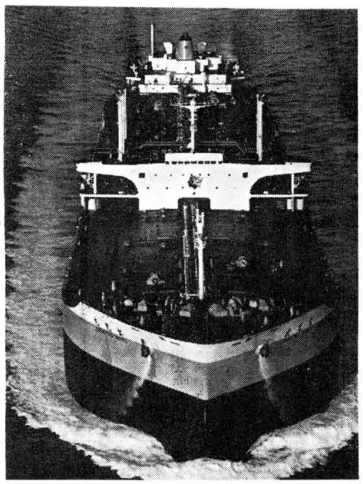
去る十二月七日朝、世界一のマンモスタンカー出光丸竣工祭が横浜で行なわれた。

竣工披露会場は、石川島播磨重工株式会社、横浜第二工場の埠頭、主役の出光丸はクリーム色の巨体に茶色の吃水線を大きく出し初冬の冷たい朝風の中に巨大な船体をゆったりと浮かべていた。

全長三四二米、甲板の広さは後楽園球場グランドの一、五倍、このマンモスぶりは想像を絶する巨大なもので、しかもこの船体がわずか七カ月で完成したことは、日本人の和の結晶と、技術の優秀さを世界に示すものである。

午前九時半、宗像大社久保輝雄宮司斎主のもとに、船長甲板にて、船上鎮座祭が斎行された。

定刻出光興産株式会社、出光佐三会長以下、関係役員が参列、これに向いあって、出光丸の田中明良船長（四二才）を初め、全乗組員が整列した。



世界が日本の造船技術の成果に苦目しているとき、これら乗組みの人々の責任は重い。厳粛な儀式の中に一瞬緊張した雰囲気が漲った。

「本船を出光丸と命名する。」

出光社長の命名の言葉により、式典はクライマックスに達した。

この宗像神社船上鎮座祭に引き続き、引渡し式が行なわれた。

船首側の甲板に大きな式場が作られていた。式壇には出光興産と、石川島播磨重工の幹部や、来賓が並び、十時三十分、音楽隊により、君が代が吹奏され、式典が始まった。

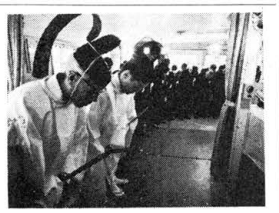
やがて、船橋マストの上に出光の社旗があがり、巨大なクス玉が割れ、五色のテープが大空に乱舞する、それを合図に汽笛が海上になり響いた。その響きに交錯し、数十の花火が炸裂し、出光丸の竣工にふさわしい情景が展開された。

人間尊重の事業経営をスローガンとする会社の配慮で、乗組員は全員個室を持ち、映画室、図書室、娯楽室など、各室の設備も素晴しく、人の和により、動く船だという感をひしひしと受ける。

船員室には名札がそれぞれつけられ、中をのぞくとベット、机、洗面器具、電話迄、すべての調度が準備され、非の打ち処はまったくない。エンジンルームに入りを眺めると、足がすくみそうな深さ、すべての機械がオートメ化され、コントロール室から、リモートコントロールされるので、乗組員はわづか三十二名で、完全な操縦が出来るのだそうだ。

尚、一航海にこの船が運ぶ原油の量は二四五、〇〇〇キロリットルで、これをドラム缶に入れて、たてに積みあげると富士山の高さ（三、七七六メートル）の二九一倍になるという。また積み込まれた原油は価格にすると約十二億五〇〇〇万円になるそうだ。

出光丸は、この式典から四日過ぎた十二月十二日、処女航海に船出しクウェートに向かった。

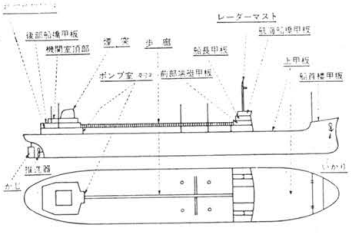


写真は船長甲板での祭儀

出光丸主要々目

船首楼付平甲板型鋼製単らせん
タービン油送船

全長	342.00メートル
垂線間長（型）	326.00 〃
幅（型）	42.80 〃
深さ（型）	23.20 〃
載貨重量	210,000トン
貨物油容積	245,000立方メートル
総トン数	108,500トン
満載航海速力	16.35ノット



謹んで新年の御祝詞を申上げます

昭和四十二年元旦

宗像大社宮司
久保輝雄
他職員一同

宗像会員諸賢の御清栄を遠かにお祈り申上げます

社報「宗像」編輯部

新春展望

宗像大社の未来図

世間では期待される人間像という言葉が使われているが、当大社に於ても、期待される神社の未来図というものを常々検討中であり、新年にあたり、その要約を御紹介したい。

当大社では、数年前、「宗像大社企画研究室」を設置、

当大社の将来の事業計画や、整備復興計画などを調査研究している。

また外郭団体では「宗像大社復興期成会」（会長出光佐三）があり、当社の大きな協賛団体として、二十数年前から活動を続けている。

ここでは、まず、神社の復興をなすには、神社の由緒を明らかにすべきだと、宗像神社史の編纂にあたられ、新年には待望の下巻が出版され、上下二巻の社史も完成する運びとなった。

この資料をもとにして、新春より愈々大復興計画の基礎を立てることになり、企画研究室では、種々の案が起こられている。

しかし、これは草案であり、未だ実行計画案迄辿っていないことを最初にお断りしておきたい。

従来の神詣では、ほとんどの人々が、徒歩により参拝していたので、旧来の社寺は、参道を中心に、境内の設備が行なわれていた。しかし交通機関が急速に進歩しつつある現代は、自動車により参拝するのでこれらの車輌を十分に収容出来る大規模な近代化された駐車場を設ける。

しかし、神社の本殿（重要文化財）を中心とする現在の境内は、本来の神道的な伝統を残し、歴史的な宗像祭祀の真姿にかえす。すなわち、勅祭社、天皇の御使いが、祭祀に参向される神社、としての設備を整え、荘厳な祭祀形態を復興する予定である。

したがって一般奉賽、特に交通安全の祈願は、場所を外に移し、代的な附属施設を調和させた新しい社殿の復興がなされるわけである。

これら外部の建造物は、近代的な設備が備えられ、青少年の育成、社会教化事業など、多角的に利用が出来るよう設計を行う。

なお境内も現在より数倍に拡張され、神道古来の神々しさと、近

数百台の自動車が滞りなくお祓い時代の境内整備を検討している。また、これらと並行して、外苑計画も協議中であり、この中には、玄海国定公園を一眺出来るドライブウェイも予定されている。

この他に勅使館の建設、斎館（神職が祭儀の為に宿泊する建物）の建設、事務局の移転など、諸建造物も新たな構想のもとに設計が計画されている。

これらの計画が実施されれば、名実共に真伊勢と称する宗像大社にふさわしい施設の復興がなされるわけである。

阿蒙少言

「今日も人であれ」これは或若い商人が、机辺に掲げている座右の銘である。外地引揚げ後の混乱の世情の中に成長し、粒々辛苦自力で商業を営み、五年前、ただ一つの楽しみの晩酌をやめて、その代金を毎日積みたて、気の毒な人々に寄贈する。平凡な自戒の一句ではあるが、人間はこうあらねばならないとの反省の生活は尊い。〇或る中国人が、日本はレジャーと月賦の国だと評している。ウィークデーでも、行楽地は満員、買わなくてもすむものを無理して月賦、会社は赤字でもテキヤ、ストを平気でやり、香港あたりの日本人旅行者が金づかいが、最もあらいと言う。今アジアは激動し、有史以来の敗戦の苦杯を喫した日本も、亦文字どおりに、臥薪嘗胆であるべきに繁栄の幻影に躍って、祖国再建の本質は少しも考えられていないと、むしろ気の毒に思っている様子。この痛い批判を否定できる指導者はあるまい〇指導者の所信表明は、型の如く方全の方策を謳する覚悟、と言う結びが多い。特に政治家の答弁などが、そのサイたるもの。容易に万全とは言えないのに、平気で誇げが飾られるところに、無責任時代の嘆きがある〇明くれば羊の年、温和従順の羊の性がそのまま内外の形勢に現われるなら、めでたい初春と心から祝いたいが、やさしく美しく自分をよく見せようとすることが、反対に不幸を招き易い現実の姿が憂えられる「羊頭を掲げて、狗肉を売る」は羊の知らぬ譬喩、羊肉を売る結果を得たいものである〇冬の庭のうらぶれた中に、さざんかが花を開く。大自然の節理に従って、寒雪をいとわない神妙。花は黙って花である。人もただ人であれ、と年頭花のおとづれま。

（白雲）

（順不同）

1967

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹しんで新年の御祝詞を申し上げます

神具、装束
結婚式場用品
株式会社井筒
本社　福岡市吉塚西林寺町
電話 ㊺ 京都市下京区油小路通六条北入六
福岡支社　電話 京都 ㊺ 福岡市九六四西林寺内 ㊺ 二三四五・九六八五番

福岡トヨタ自動車株式会社
取締役社長　金子道雄
福岡市渡辺通四丁目九番二十五号
電話 代表 ㊻ 三三三一番

福岡日産自動車株式会社
取締役社長　安藤信夫
福岡市薬院大通二丁目四ノ一番地
電話 ㊷ 一二三一番

北九州日産モーター株式会社
代表取締役　松本虎次郎
福岡市比恵屋敷町三三番地
電話 代表 ㊺ 一八三一番

北部九州いすゞモーター株式会社
取締役社長　寺坂勝次
福岡市白鷺町六〇番地
電話 代表 ㊺ 六二三一番

福岡マツダ販売株式会社
取締役社長　吉田千治
福岡市白鷺町五十六番地（国道筋）
電話 ㊺ 二七三一～六番

株式会社梁瀬福岡支店
支店長　堀定良
福岡市平尾新川町三六ノ一番地
電話 代表 ㊷ 一二二一番

九州三菱ふそう自動車販売株式会社
取締役社長　早瀬彰
福岡市薬院大通り二丁目七二番地
電話 代表 ㊷ 一三一一番

大鳥居移転再建さる

―境内万葉歌碑前に―

昭和四十一年十二月十八日、人々に永く敬仰されて来た東郷橋大鳥居が、最近の著しい車の輻輳と、釣川県道の舗装によるやむを得ざる事情により、三十三年間、国道三号線を見守って来た姿を遂に消すに至った。既報の通り大鳥居は、昭和八年十月、先代麻生太吉氏奉献によるもので、同鳥居額面神社名の揮毫は、神津宮を始め宗像神社に特に崇敬厚かった時の軍事参議官、加藤寛治閣下のに筆よるものである。

解体工事は八幡区の予州産業が担当、去る十二月十八日早朝より小雨をついて開始、大型グレーン車二台が出動、笠木から順次慎重に取りはずされ、夕刻迄に神社境内迄運搬された。

終日、この模様を見守っておられた附近の篤信家は「永年仰ぎ見た大鳥居とも、愈々お別れを告げる事となり、色々事情もありましようが、私達にとりましては、本当に淋しい限りです。」と語っておられた。

再建地は、当大社東参道ロータリー広場鳥葉歌碑と、大燈籠との間で、十九日夕刻迄に写真の通り再建された。

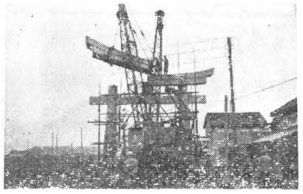
再建地については、各種の意見があったが、検討の結果、数年後に興る神苑整備計画を考慮し、決定したもので、鳥居下を通行させない事にしている。

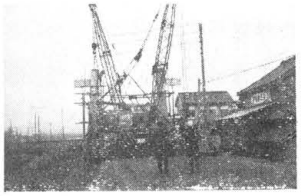
此度の移転に至るまで、数カ月新聞紙上に報道されたが、国道三号線に残る神社唯一の象徴である事と、奉納者の了解を得る事、又解体再建に要する費用等の問題があって今日に至ったものである。

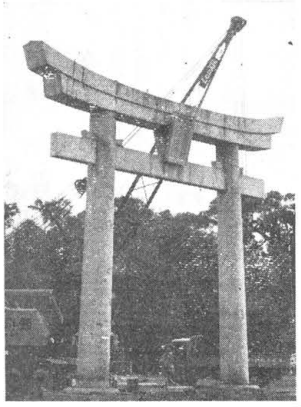
最近、当事者の内状をよく調べずして、興味本意に、世間に誤解を招き易い報道が多いのは遺憾である。

大鳥居建立であった過去三十年間事故一つなかっただけに今後の無事故が強く望まれる。献身的に解体工事を進めて下さった予州産業の各位に感謝する次第である。

（写真上は東郷橋大鳥居解体工事
写真下は境内に再建された大鳥居）







一月のまつり

一月一日　元旦祭　午前四時

年始に当って一年中の福徳を祈願し、あらゆる仕事始めを祝う祭、当社では国家隆昌、産業繁栄、大漁満足、特に交通安全の大祈願祭を行う。

午前〇時、除夜の鐘を合図として一斉に多くの車が群集し、境内は車でうめつくされてしまう。

新車を購入したオーナーは必ず当社に参拝して一年間の安全を祈願する。

一〇日　恵比須祭　午前九時

俗に十日エビスの祭という。境内末社摂子社において玄海町商工会の主催によって商売繁昌の祈願を行い、続いて同会員のお座を行う。

一三日　献米奉告祭と鏡餅開き　午前十一時

旧年中に献米袋を配布して郡内より奉献された米を新年に当って神前にお供えし、また新穀によって作られた鏡餅もお供えし、祭典終了後奉献された鏡餅をいたゞく。これは生産感謝のまことをささげ、また今年中の幸福を予祝する行事である。

一五日成人祭　午前九時

戦後定められた国民の祝日。この日までに、満二十才に成人した青年男女を祝福する日の祭である。国民の自覚を喚起し、責任を考えることを誓って参拝する。

宗像緑風園に重油寄贈

『栗組』柴田社長の善意

去る十二月十三日、宗像郡宗像町武丸の宗像緑風園に、株式会社栗組の柴田昌子社長（戸畑区東天籟寺町）から、風呂の燃料として重油ドラム缶八本（一六〇〇リットル）が寄贈された。

この善意の寄贈は昭和三十六年初められて以降本年で五回目今では年中行事の一つとなっている。

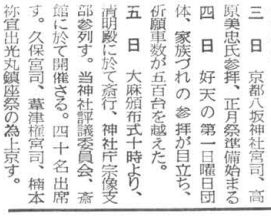
これについては、昭和三十四年現在の久保宮司が当大社に就任以来、社会福祉事業の一環として行なわれて来たが、これを聴かれた柴田社長が、老人ホームのことは当分でお引受けしたいと申し出があり、それ以来本年迄一度も欠かさず行なわれている。

同園大和武三園長のお話しによると、柴田社長の御蔭で寒い冬も今迄以上に充分入浴をさせることが出来るようになり、寒さの為に亡くなる老人が無くなったとの事である。

尚当日は社長代理として、専務取締役の森田幸剛氏が戸畑の本社から遠路わざわざお見えになり、当天社からは仲熟持として担当の神職が伺った。

宗像大社はこちら

―国道に標識出来る―



三号線沿線に建立されていた大鳥居が相次いで姿を消し、当大社の参拝道を示すシンボルが失なわれ、始めてお詣りするオーナーが迷るのではないかと、各方面から心配されていたが、この度、国道三号線からの分岐点東郷橋河畔、及び東郷駅東口四叉路の二カ所に規格の道路標識が設置された。

これによって、三号線宗像町附近で、車を止めて、参拝道を訪ねて交通障害となったり、除行しながらのキョロキョロ脇見運転が解消され、参拝のオーナーにとって一段と便利になった。

又、参拝道にも簡単な標示を設置する予定で、宗像郡にスムースに来られるよう神社では計画している。

社務日誌抄

十二月一日　月次祭午前十時より斎行、葦津権宮司以下全職員奉仕。福間次郎丸担鎮祭、斎藤権祢宜奉仕す。

三日　京都八坂神社宮司、高原美忠氏参拝、正月祭献備始まる

四日　好天の第一日曜日団体、家族づれの参拝が目立ち、祈願車数が五百台を越えた。

五日　大麻頒布午十時より、清明殿に於て斎行、神社庁宗像支部参列す。当神社評議員会、斎館に於て開催さる。四十名出席す。久保宮司、葦津権宮司、楠本祢宜出光丸鎮座祭の為上京す。

宗像談話室

春はめぐる魚屋の新装

―吉武繁子女史訪問記―

新春の濃い碧を湛えて、押し寄せる波涛の響き。この勇壮な玄界灘を見渡す神湊の海浜に、白亜の近代的なビルが完成した。

「のれん」を誇る老舗魚屋旅館である。創業は元禄の昔、現在に至って三百数十年。「うおや」と読ませる屋号は、福博、北九州は勿論に及ばず、遠く東京、北海道に迄知れている。

其の昔、黒田侯在藩当時、廻船問屋を営み、福寿丸を運航、大阪迄御用米を運搬、或は郡内の鶏卵を出荷、又、黒田侯世継出生の際は鯛を献納する家柄。この魚屋が正月を期して、愈々再建開店の運びとなった。

去る昭和三十九年十月の火から数えて三年、再建開店となるまでには、粒々辛苦の物語りがある。

新装なった潮騒の鳴る魚屋の一室。対するは、魚屋六代目当主の女将、質素な粧いと、柔和な風貌は慈母観音像を連想させる。この女将が焼杭の廃墟のなかから立上った女丈夫とは想像できない。

大火の翌朝、焼跡に茫然自失、天を仰いで、長嘆息した実感は筆舌に尽し難いものがあったであろう。

不慮の災害、先祖と世間に対する責任、この責任を如何に果すかを日夜考え続けたと言う。

魚屋の不動産一切を担保に借財或は売却、負債総額は実に数千万円。これを総て罹災者救済に充てた。

俗に出火は三代祟ると言われている程世間の批判は厳しい。火元に注がれ、批判は同情にかわり、立ち並び、倍旧の街並みを呈した。

しかし、他に奉仕し、自己を顧りみなかった魚屋旅館は廃墟のままであった。

人々の関心はやがて、魚屋旅館に注がれ、批判は同情にかわり、復興の声援となった。地元の応援は夜逃げ、転居、地元に居住し得ないのが普通である。非難轟々たる世俗の嵐の中に身を置して、一路罹災者の為尽した女将の所業は言い易くして至難の事。

二年後、罹災家屋は立派に復旧木の香匂う新築家屋が、それぞれの再興への声援であった。魚屋は、やはり魚屋によって起つべきである。内外から寄せられた魚屋復興の声は女将の胸に発起再興の決意を固めさせた。

これ等の援助は、有形、無形の内に魚屋を復興建設へと、前進させたのである。設計、融資、工事、これ等が一貫して滞りなく進捗した。

昨年、完成を目前にして、地元某寺が後任住職を迎え、併せて結婚披露宴を催すに当って是非魚屋で開きたいと申し入れた。到底其の時期迄に完工不能の為断ったところ、結婚式、披露宴を完成迄延期したとの事。夫だ開店通知も出さぬのに予約が相継ぐ等、顧客の満腔の信頼は、魚屋ののれんもさる事ながら、先祖の余徳と、女将の誠心が万事に通じた感が深い。

女将の耐えて来た三年間は隠忍苦闘の月日であり、自殺を考えた事も再三と言う。

何人にも人生の起伏がある。逆境にあっても能く忍び、厳寒の霜雪に耐えてこそ、彼岸の春に喜びがある。人生に起承転結があるとするならば、転落の逆境は誠実な努力によって復興への結びに到ったと言う事が出来る。

昭和五、六年頃先代が宗像大社宮司と親交し、大社発展の為尽力商算を無視して、神湊から大八車で蕎麦を運び、交通安全蕎麦を国鉄関係者に差し上げた物語り。

当主も宗像大社崇敬の人。問借り生活当時、苛酷な風評に耐えながら、春秋大祭の献魚を絶さなかった。この誠信のよって起つるところは、神仏に帰依する先祖伝承の信仰心。

起きて半畳、寝て一畳、行住坐臥皆、先祖のお導き、神仏と共に在ると、我欲を滅却したところに報酬を超えた奉仕があった。情は人の為ならず、福をもって福となした魚屋再興の佳話を綴って、新年の談話室としたい。

×　×

賀　春

宗像大社御用達

有限会社　大和印刷所

宗像郡宗像町東郷　電話　宗像2027番

1967　（順不同）

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹しんで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨペット株式会社
取締役社長　大西四郎
代表取締役　川本節雄
福岡市大字比恵九二番地
電話代表㊹一一二一番

博多日産モーター株式会社
取締役社長　木内三郎
福岡市大字那珂字淵高一〇六番地
電話代表㊹六六三一番

福岡いすゞ自動車株式会社
取締役社長　渡辺藤吉
福岡市比恵新町一二一番地
電話代表㊹一一四一番

株式会社マツダオート福岡
取締役社長　吉田弘
福岡市比恵新町一八番地
電話代表㊺六〇三一番

福岡ダイハツ自動車株式会社
代表取締役　泉行雄
福岡市比恵三五番地
電話代表㊺一三三一番

福岡日野自動車株式会社
取締役社長　植竹陽介
福岡市堅粕御塔後一三九五番地
電話大代表㊹一一七一番

九州三菱自動車販売株式会社
取締役社長　西崎克己
福岡市薬院露切町三一番地
電話代表㊸三一六一番

羊年によせて

昭和四十二年、神武天皇橿原宮に即位給いしより二千六百二十七年、明治元年より百年を迎うるの年、干支は丁未（ひのとひつじ）となる。

未は「ひつじ」と呼び方位に配しては西南、時は午后三時、日は六日に当り、未と羊は相通じる。そもく羊の我朝に渡来した初見は、日本書紀の記載による、推古天皇七年（己未）秋九月に百済より渡来した二頭である。以来ときとして大陸から献上されていたが珍獣として扱われていた。しかしアジア大陸やヨーロッパでは古くより人間に飼育されていた動物である。この故か宗教儀礼に羊の果す役割は非常に多く、古代中国では、論語の中の孔子と子貢の対話に「子貢、告朔の餼羊を去らんと欲す、子曰く賜や汝は其の羊を愛む我れは其の礼を愛む」とある如く神への供物として古くより用いられていたことが解る。亦、キリストは「私は良い羊飼い」と自称し、羊飼いに対する羊の信頼は神と人との関係を示す譬喩として各章に用いられている、また牧師の語義も元は牧羊者に由来しているかく洋の東西を問わず羊が宗教と密接な関係にあるのは、羊が柔順で忍耐強い性質であったためであろう。このように人間生活と不即不離の間柄にある羊は、人を導く指標としての格言となって現れる。先ず中国では「羊頭を懸けて狗肉を売る」と見かけだけ立派なことの譬えとして用いられ、亦ヨーロッパでは「羊雲は生命と幸福の兆し」としてローマの占に源を発する言葉となっている。このように羊が凡そ吉なるものの象徴であるのは、善、美、祥、等の文字が羊字を基としているのを見ても理解できよう。

かくの如く海彼にあっては温和温順なる羊も我国に渡来してより、ひつじ年と言えば大きい国の変動期となっている。誠に史書を繙けば、

元弘元年（辛未）楠八木正成挙兵。此の年月、醍醐天皇、幕府執権北条高時の専横に憤られ軍を笠置に起し給う、九月、楠木正成等義兵を起したが戦局に利非す官軍は破れさして行く笠置の山を出しより天が下には隠れ家そなしとの天皇の御悲嘆となった。しかし所これが大きい契機になり全国諸々に義兵が起り北条政権滅亡の誘因となり建武中興へと発展した。

安政六年（己未）三港開港ペルリ来航により、徳川三百年の大平の夢は一朝にして破れ、此年五月、横浜、神奈川、函館三港の開港をみるに至った。これと期を同じうして遣米使派遣の声が起った。幕府日程と考究の末、十一月軍艦監臨丸、艦長勝隣太郎をして、使節送迎の任に当らせた。日本人による初の太平洋横断の壮挙はかくて

玉の緒は神と君とにまかせつつしらぬ国にも名をや残さん

と、悲壮な決意の下に行なわれ、この成功により、日本歴史は新しい時代を劃する事となった。内に尊攘奨励外に開国の潮流巻く中を突進む監臨丸の偉容こそ前進する民族永遠の姿を示している。

昭和六年（辛未）満州事変起る奉天郊外の柳条溝満鉄線路爆破事件に端を発した日支間の確執はその後、上海事変、日華事変、大平洋戦争へとつながる導火線となった。この柳条溝の一発の轟音がやがて広島上空に炸裂する巨大な閃光に広がることを此時誰が予想し得たであろうか。

かく未年の歴史は古きものの破壊と新しきものの建設を物語っている、古、推古朝に渡来した二匹の羊のたどる運命はかく数奇な物語に彩られている。

今年の羊の歩む道や如何に、願くは、新なる日本の躍進に歩を進めんことを。

自衛艦の勇姿を奉納

――扁額の返礼、総監が参拝――

去る十二月十五日、海上自衛隊古鹿総監が参拝。カラー写真二葉を奉納された。

写真は、縦六十センチ、横一米二十センチの大額に挿入された大きなもので、紺碧の海原を艦隊が巡航、大空にはジェットが編隊を組んでいる様が撮影されている。

既報の通り、「神光照海」東郷元帥書の扁額を佐世保海上自衛隊総監部に贈呈した返礼に持参されたものである神社では早速斎館応接室に掲げて、永く保存する事にしている。

参拝車道入口広がる

当社に参拝される車輌は年々増加しているので、昨年十一月、入口参道が宝物館脇に新設され、昨年正月から通行が出来、従来のロータリー側の進入路より入り易いので参拝者各位に喜ばれていたが大型車の参拝も多くなった昨今、現在の六メーター幅員では少し無理なので、十二メーターに拡張する事になり、工事がこの程行われた。

工事は内山緑地建設が担当。この参拝道の内、県道から入口は小川がある為橋脚工事に重点がおかれた。規格のガードレールも取付けられ、正月からスムースに通行出来る予定である。

魚信

「神湊のクロ」

夏から秋にかけて賑った釣川の川釣も、今や北風が吹荒び、川堤の枯草に霜が降り始めると魚群は川底深く姿を没してしまった。それでも川下の五月橋あたりでは、寒ささへ辛棒すれば未だ鯉やハゼがよく釣れている。

しかし、此の冬は海釣に転じた方がより成果が得られると思う。

神社の周辺では神湊の波止場がよい。此所は北西風をまともにうけるが、最近クロ、メイタ、アブラメ等がよく釣れている。風の弱い海の凪いだ日の方が釣り易く楽しめるけれども、釣果をねらうならば少しはシケた時期がよい。

クロは秋から冬にかけて最もよく上るが、ただし大型は船がかり以外には望めず磯釣りでは専ら手のひら大の一、二才級。

竿は三間半、軟調、道糸は二号ハリスは五十糎・銀鱗一号か〇、八号。針は丸型八号～十号。ウキ下一尋半。餌はモエビ・本虫。要領はマキ餌を充分にする。エビが高いのでゴカイ・イワシのミンチを混ぜて投入してもよい。ただ潮流が早いので方向をよく確めて上流にまく。（新聞紙をちぎって流せばよく判る）

話題の新車をみる（六）

ダイハツフェローの巻

ダイハツフェロー訳せば「親しい仲間」となるそうである。ダイハツ工業が新しく発売した車種である。知っての通り三六〇ccクラスの軽自動車は、法規上種々の制約があり、適当な大きさにと言う訳に行かない。故にトランク等は省略され、「軽」と言えば、小さく狭いと言う観念から抜け出す事が出来なかった。この車はこう言った観念を打破して、小さくとも広い、と言う事に設計の眼目が置かれた跡が伺われ、一応の成功を收めている。即ち室内スペースを有効に引き出す為に外観を箱型にし、ギリギリの線迄全長を長くしファストバック形式にして居住性を高め、トランクを取りつけている。

フロントエンジン、リヤドライブ、水冷直列2サイクル2気筒最高出力二三馬力、五〇〇〇回転最大トルク三、五kg m／四〇〇〇回転、分離給油潤滑方式であり高速時代に耐え得る性能を備えた車であると言われている。トランスミッションは後退、一速前進四速コラム方式であるが、一速はシンクロメッシュになっていない。ボディ構造はフレームレスモノコックで、軽としては丈夫である。

軽自動車界も競走が激しく、各社は値下げ、モデルチェンジ、マイナーチェンジと、新趣向をこらして、売らんかな為の苦しい闘いを続けている故に新車種として出すには、新時代に受け入れられるべき要素を備えていなければならない。この車は世界的流行とも言える四角型ヘッドライト、室内にじゅうたん敷と言う豪華さ、シートのスライド巾は十五センチ、乗降の際に背もたれが倒れ乍ら前方に移動する、と言う便利さがあり、前面ウインドーはコントロールデフロスターとなっている。トランクルームは広くスペヤホイールが後席の背面に接して固定され、二十五リットル入りタンクは床下最後部に置かれて、追突から来る安全性を高めている。テールランプは大きくて見やすく作られ、サイドマーカーランプもつけている。ホイルベースは一九九〇㎜、フロントサスペンションは上不等長のウイッシボーンタイプ、リヤーサスペンションはスイングアクスルによる独立懸架となっている。この種のサスペンションは、リヤーエンジン車に用いられる方式なのであるが、この通例を打破して迄使用するのは、向上を計算しての事である。

この車は軽クラスでは安全性の高い車に入るのであるが、改善すべき点もある。セフテイバットは薄いバット、サンバイザーは固い芯板で危険性があり、ドアハンドルに突出しがあり、ボンネット、ヒンジは前ヒンジで正面衝突すると、前ガラスに当たる恐れがあり、サイドミラーがボデイ巾より少し出て、狭い道で走行者を引っかける心配がある。

デラックス　三七五、〇〇〇円
スーパーデラックス　三九八、〇〇〇円
（以上京浜、名古屋、大阪店頭渡し）

×　×

謹賀新年

白砂青松の中に
玄界灘を望む

玄海ゴルフ場
福岡県宗像郡玄海町
電話 一一一五 一一六番

第六七回 宗像大社献詠歌会詠草

十二月十六日　於社務所詠草到着順

大濠　江崎　琴子
（第東尼の百年忌祭に）
詠みませる言の葉くさをおとめらの
さ、げし色紙木々にさゆらぐ

宗像　片山　一
街灯の照らす範囲の光越え闇を隔てて国電走る

門司　永島　哲夫
宍道湖の朝霧は濃し鰐掻く舟現はれてすぐ消えてゆく

勝浦　永島　計七
碁に負けて我が老衰を覚れども尚面白さに今日も石もつ

福間　森　八蔵
鰐曇だいに請れる西空に秋の陽しずむ玄海のはて

戸畑　田中　ハツセ
自らを出世組に入れてゐる夫が母校の寄附を惜しみなくする

戸畑　田中　桂一
すそひろがさってありし花嫁衣装今宵は紋付とかけかへてあり

宗像　伊規須ゆき
新槽の粘土に石のましろ展鍬の刃先が火花を散す

吉留　白木うめの
新藁をとこにねかせし味噌こうじ今朝ぬくもりて甘き香をたつ

遠賀　長畑　房江
莫蓙に包む花の束より薫深き深山りんどう我が購ひぬ

大井　村山　幸生
蜜蜂のたかれる音に見上くれはひそと匂ひて枇杷の花咲く

宗像　小野角次郎
釣川越歩るオーバー師走風はためく風に首をうづめて

宗像　小野　花居
初冬の陽豊かにさして柿ちぎり上より下より嬉々とたわむる

吉武　原田　リノ
武者返りの石垣高く幾世まで城守らむの知恵を見上くる（相良城）

1967　（順不同）

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹しんで新年の御祝詞を申し上げます

トヨタパブリカ博多株式会社
取締役社長　久恒　鑛造
福岡市薬院堀入町五丁目一番地
電話㈹四三四五㈭二四三六～九番

トヨタパブリカ
北九州株式会社
取締役社長　永田　卓也
北九州市八幡区黒崎大字熊手三七ノ一
電話㊷四九三一～四番

日産サニー福岡販売株式会社
取締役社長　甲斐島　衛
福岡市東光寺深町二一七ノ一番地
電話　代表㊹四一三一番

日産サニー
北九州販売株式会社
代表取締役　菊竹　保平
北九州市八幡区穴生字古作浜一七八〇番地の一
電話㊷二一三六～八番

日産プリンス
福岡ヤナセ株式会社
取締役社長　梁瀬次郎
専務取締役　岩永政定
福岡市露町一四五番地
電話　代表㊷一一二一番

国際モータース株式会社
取締役社長　中井　隆
福岡市白鷺町七番地
電話　代表㊺八一三一番

福岡ホンダ販売株式会社
取締役社長　内野庄八
本社　福岡市下呉服町九番三十二号
比恵営業所　電話㈹八〇六一番
福岡市白鷺町四二番地
支店　電話㈹五五七五番
北九州・筑後・大牟田

宗像大社献詠 俳句作品集（四十九）

慶びの箱入形福寿草　津屋崎　毛利　夜潮

〃　〃　久羽　文王

玉競りのすすむや忽ち楽起る　〃　〃　西住喜三郎

初釣の海鮮かに透きとほる　〃　〃　浜津　鴻浪

なまこ引く喉を鳴らして猫不遜　〃　〃　鶴　美津男

風の中の靴磨きにも船夜が来る　〃　〃　勝田　光一

初湯の妻の座空けて今日ひと日　〃　〃　岩見佳代子

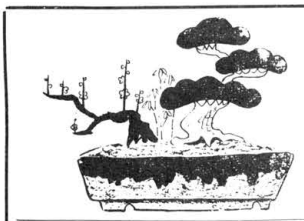
厨に伏せしささえっぷやき時雨る　東郷　小野　淡坡

枯蓮にかさこそと風師走昼　〃　〃　小野　花居

柿熟しとかり一つ落ち二つ落ち　久留米市　篠田　南洞

お前だけは昔の姿つくしんぼう　宗像　木原ふさ子

一刻の朝焼け映え稲架の列



出光佐三一問一答シリーズ ⑤

マルクスが日本に生まれていたら

当時は一種の禅ブームみたいな時期だったので、禅僧の伝記などはもちろん、空海とか最澄とか親鸞とかの本が、そのころ二、三十冊出たんだ。それはほとんどみな読んだ。とくに高僧の伝記というものは熱心に読んだね。

質問　共産主義は明治三十年ごろからそろそろ入ってきたわけですけれども、明治四十三年のいわゆる「大逆事件」を、当時、店主はどう感じられましたか。

出光　ちょうど学校を出て丁稚奉公時代だ。けしからんと思ったね。そのころはみなそうだが、国体とか皇室に対する尊敬の気持が厚かった時代だから、幸徳秋水みたいな者は、ぼくらからいえば、なんだ、日本人らしくない、日本を滅ぼす国賊だ、絶対に許すべからざる奴だという極端な反感をもっていたね。

2　「資本主義・社会主義・共産主義は外国にお返ししよう」ということの意味

質問　四十五、六年前の共産主義に対する店主の考え方の基本、また当時の状況は大体わかりましたが、最近では、資本主義・社会主義・共産主義というのは、外国から輸入したもので、日本人に関係がないんだから、お返ししようと言っておられる。これは味わうべき言葉だと思いますが、その場合、この資本主義とか社会主義の意味には二つの面がある、と思うのです。一つはものの考え方・思想、そういう意味での資本主義・社会主義と、もう一つは、経済の仕組みという意味での資本主義・社会主義と、二つあると思うのです。店主の、外国から借りたものをお返しする、ということは、ものの考え方をお返しするということだと思います。制度、経済の仕組みというのはどこからもってきても、これは簡単にお返ししたりできないものだから、やはりその中でいいものは採り入れていけばいい、ということになると思いますが……

出光　一言で言えば、外国の対立闘争の考え方の悪いところを、お返しするということだ。もう一つ言えば、資本主義・社会主義・共産主義のいいところは、形は違うが、昔から日本にはあるんだ。いや、それ以上の深いものを日本は持っている。日本人が日本人らしくやっていけば、なにも資本主義・社会主義・共産主義などという必要はないんだ。

人間の根本は、平和に仲良く暮らすということだろう。しかし生産とか消費とか分配などは、人生の一齣として必要だから、資本主義・社会主義・共産主義などのよいところは、採れば よいのであって、そのため全体が対立闘争してはいけない、ということは、根本を忘れてはいかんよ。

そういう点から今の日本の政治・教育を見ると実におかしい。政治を例にとれば、日本の国がどうすれば平和に、しあわせになるか、ということが政治の中心であるべきはずなのに、物の分配論にすぎない資本主義・社会主義・共産主義といった主義を唱え合って対立しているということは、どういうことかね。ぼくはかねてから、日本の今の国会は政治を論ずる議場ではなくて、「人の国」日本を守るか、対立闘争の「物の国」にしてしまうかの戦場だと言っているが、ぼくからそう言われても仕方のない現状だろう。君たちはどう思うかね。

教育にしてもそうだ。平和なしあわせな世界をつくりあげる国民を育てる、ということが教育の中心であるべきはずなのに、先生自身が物や金を中心として対立闘争しているなどということは、子供に喧嘩することを教えているようなもので、それでは子供がかわいそうだよ。

ところが出光は日本人として、これらの主義のいいところは採って悪いところは捨て、完全に咀嚼して彼らは、常にトップとしてものを見ながら行動している。

3　福祉と自由競争について

質問　表面的に見るかぎり、マルクスと店主の目指す目的は、同じであるように考えられます。

マルクスは、搾取する者も搾取される者もいない、そしてすべての人間が自分の個性や能力を十分発揮できるような社会にしたい、と考えていたわけですが、店主も人間尊重の精神で皆が仲良く助け合う社会をつくりたい、と考えておられる。

ところが、両者の目指す社会の具体的な内容や、その目標に達するための手段・方法は、相当異なっているように考えられます。

マルクスは「ゴータ綱領批判」の中で、共産主義社会は　搾取ということがなく、物質的生産力が非常に発達していて、「各人は能力に応じて働き、必要に応じて分配される」社会である、というふうに描いています。そして、そのような社会をつくるためには、資本主義社会の搾取関係を階級闘争によってなくさねばならぬというわけです。

この点、店主は、人間が平和に仲良く暮らす社会を具体的にどのように描き、またそれに達する道程を、どのように考えておられますか。

出光　人間が平和にしあわせに暮らせるような社会を目指している点では、マルクスも出光も同じだと思うね。しかし福祉・しあわせの内容、その目標に達する手段になると、全然正反対だ。マルクスは人間の福祉の根本を物に置き、目標に達する手段を階級の対立闘争に求めているようだが、ぼくは違う。人間のしあわせは心にあって、それにはお互いに譲ったり助け合ったりして、仲良くするという互譲互助・日本の和の精神がなければならないと思う。したがって、人と物、互譲互助と対立闘争というように、マルクスと出光とは根本的に相容れない点がある。

ところで、この福祉ということについてだが、このあいだからぼくは人間の福祉・しあわせということについて、いろいろ考えてみた。そして福祉とは一体なんなのか、いろいろな人に聞いてみたが、百人百様で、同じことを言った人は一人もいないんだ。いろんなことを言われるが、みんな言うことが違う。一言で簡単明快に答えた人はいない。それではぼくが考えるのは、しあわせの反対の不幸ということは一体どういうことか、ということを考えればすぐわかるんじゃないか、と思うんだ。

× ×

平和にしあわせに暮らす社会とは具体的にどんな社会か

経営とは何か

FPドラッカー

この実践面の第一の事柄は、こういった優秀会社の経営幹部というものは、会社全体の仕事というものを常によく考察し、再検討し、分析し、そしてこれを繰り返し、繰り返し、反省しているということである。

ところで、基本的態度というものは、出発点でなくて、むしろ終結点であり、出発点には他の実践的な面が考えられよう。

一般企業の場合、自社の業績の分析、あるいは反省を行なう場合に、個々の製品、あるいは個々のサービスを取り上げて、この仕事、あるいはこの製品はどれだけコストがかかるか、どれだけの利益率があるか、またこれについて、どれだけ期待できるかといった狭い検討をするのが普通であるが、成功をおさめている企業では、全製品、全サービスをみて、その中から、その組み合わせがいかに成功の方向に向くかということを常に考えている。

要するに、成功をおさめている会社では、会社全体の業体を常に考え、全部を見て、部分だけを検討するということをしないといえよう。

ある業体によっては、こういった全般的な、全体的な見方というものが、自然に自動的に行なわれている場合がある。たとえば、石油化学、あるいは石油精製のようなプロセス・インダストリであれば、ガソリン、重油、あるいは潤滑油といったようなものが同じ流れから出てくるので、自動的に全体的に見るということになる。

ところが機械工業、あるいは百貨店、その他の多くのサービス業では部分的な事象にとらわれ、会社の事業全体を把握するということが等閑視されるのが普通である。

実践面の第二としては、一つの製品とか一つのサービスは、会社の事業の中の単に一つの時限に過ぎないという見方をしていることである。

誰もが知っていることであるが、製品というものはだんだんと年をとってきて、いずれは陳腐化してしまう。それと同じように、市場というものはだんだん変化ずるし、また末端における、ものの使われ方というものも刻々変わっていく、という点が往々にして見逃されている。

（つづく）

（日本事務能率協会刊）

× ×

（三頁よりつゞく）

大井　安部　重郎

大井　安部　静子

大井　安部　搾取

大井　木原ふさ子

残り飯やれば鳴等は集ひ来て三十七の数にふえけり

幾度か通りし道も紅葉せし此の木ありとは気附かざりけり

照紅葉うつす堤の水浅く静もりし山に碧拾わむ

せせらぎの水音楽し暮れてゆく刈田にひとり耳すましをり

産土の神に詣れし園児達可愛き事に手に十歳飴受く（七五三詣り）

亡き祖父が愛せしランの大鉢が大工の投げし木片にて割る

池の面に山茶花二ひら浮かび居り緋鯉動かず籍日き朝

夜半覚めて寝ねられぬまま時過ぎて朝明けの鐘遠くかぞふる

稲小積ひとひひとひと数減りて刈田に温き冬の日つづく

悲しみの涙一時にこみ上げぬ叔母の遺体に菊理むとき

宗像の秋を彩る家元の献茶の会に母とまみえる

大島　越智　治子

宗像　木原ふさ子

武丸　立石　昇

武丸　立石　之

宮田　北原　君子

大井　吉田ますみ

南郷　中村　幸

勝浦　永島　文子

深田　中野　節子

碧空になほ高く昇る二筋の白き煙見る恋柑山に来て

津屋崎　麦野　時雄

石筍が一センチメートル伸びるには二百万年時をかせぐと

久留米　篠田　南洞

筑後平野は霞みて茜に昏れてゆく我は田舎の医者の子なり

香椎　織田　椽雨

日の御旗かゝげて祝ふはつくにの祖国あかるき時かたまけぬ

（紀元節の復旧に思ふ）

村山田　吉田佐市郎

豊作の稲架連なる山里に柿の実赤秋はふけゆく

福岡　吉田　信夫

教へ子が嫁く夕はうれしくてしどどに酔ひて語りひしわれ

田島　白雲　山人

大鳥居の上を身軽に鳶職は修繕の大綱かけてほゝえむ

飯塚　加藤　敏子

苗木わけ花の咲けりと友のいふ離れゐたれど心通ひぬ

名島　久保　房江

山茶花の散りし花びらかたよせて汲むつくばいの水のつめたさ

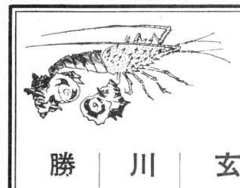
田島　楠本　正

山峡に大き川二つあふところ豊後渡しと旅人は名付けむ

—豊肥の境にて—

宗像　伊規須ゆき

遠き嶺に陽は没り巣へて鷲鷺一つ一つの紅のいろ



新年おめでとうございます

○玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

あけぼの荘　電話神湊66番
高嘉旅館　電話神湊50番
千成旅館　電話神湊46番
米屋旅館　電話神湊111番
千鳥荘　電話神湊68番
玄海旅館　電話神湊1番
大島屋旅館　電話神湊31番
魚屋旅館　電話神湊22番
喜楽旅館　電話神湊19番
みなと荘　電話神湊56番
松風荘　電話神湊120番
友楽旅館　電話神湊6114番
泉館旅館　電話神湊35番
さつき荘　電話神湊30番
玄洋荘　電話神湊172番
川口屋旅館　電話神湊48番
勝浦荘　電話神湊6170番